ITS スポット

人・車・道をつなげる新たなサービス

ＩＴＳスポットサービス

ＩＴＳのサービスとしては、従来からＶＩＣＳによる交通情報提供、ＥＴＣによる電子料金収受などがありました。
　これらのサービスをよりまとめた形でグレードアップして提供しようというのが「ＩＴＳスポットサービス」だと思います。
　１つのＩＴＳスポット対応カーナビで様々なサービスを受けることができるようになりますので、安心安全、快適で信頼性の高いドライブを楽しむことができるようになると期待しています。
京都大学大学院　谷口　栄一教授のコメント

１．ＩＴＳスポットサービスの特徴

広域な渋滞情報でカーナビが賢くルート選択（ダイナミックルートガイダンス）

- 現在の道路に設置されたビーコンやＦＭ局から提供されるカーナビ情報の範囲は、ほぼ府県単位に限定。
- 新たなサービスでは、ＥＴＣで使われている通信技術を活用した高速・大容量の通信により、府県境をまたぐ広域でリアルタイムな渋滞情報の提供が実現
- 広域情報により、カーナビが賢く目的地までの最適ルートを瞬時に選択

ドライブ中のヒヤリをなくす、事前の注意喚起（安全運転支援）

- 事故につながる故障車や荷物の落下は、近畿の高速道路で約８分に１回発生しており、現在のカーナビや道路情報板では正確な位置を提供するのは不可能。
- ＩＴＳスポットから受信した故障車や落下物の情報を蓄積し、障害物の直前でカーナビがドライバーに注意喚起
- また、事故多発地点では、カーブ先の見えない渋滞を画像等により注意喚起。

２．サービスが受けられる道路

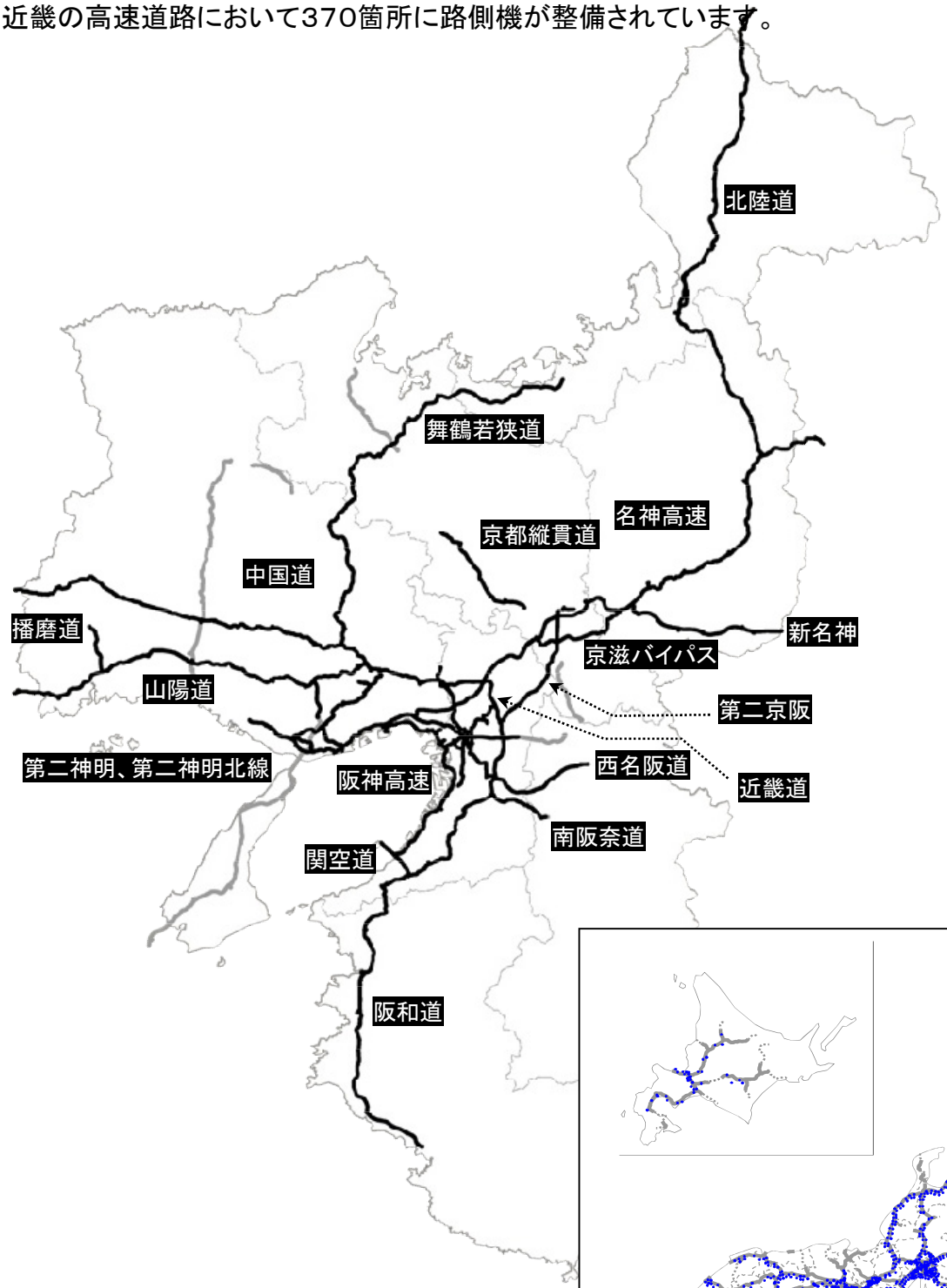
近畿地方の１８路線、1,182km でサービスが受けられます。

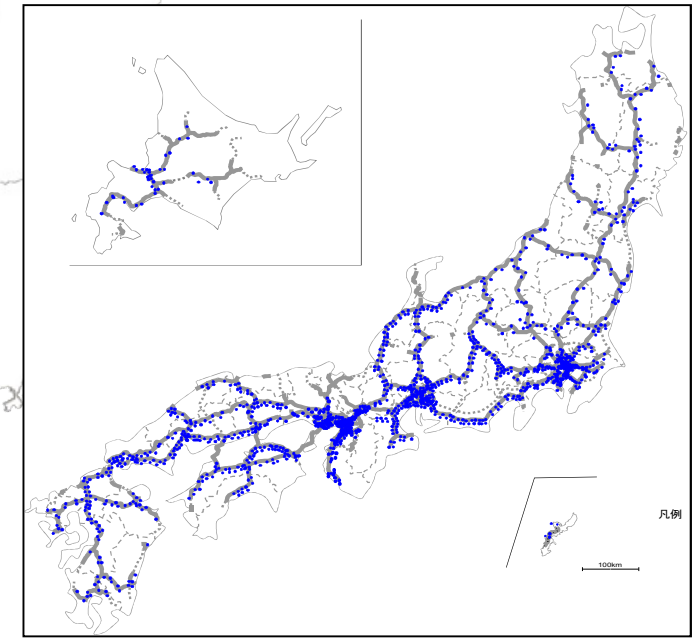
・関空道	・京都縦貫道	・近畿道	・京滋バイパス
・山陽道	・新名神	・第二神明	・第二神明北線
・第二京阪	・中国道	・西名阪道	・播磨道
・阪神高速	・阪和道	・北陸道	・舞鶴若狭道
・南阪奈道	・名神高速		（別図参照）

近畿地方のITSスポットサービス　ルートマップ

近畿地方の18路線、1,182kmの高速道路でITSスポットサービスが受けられます。

- 近畿の高速道路において370箇所に路側機が整備されています。



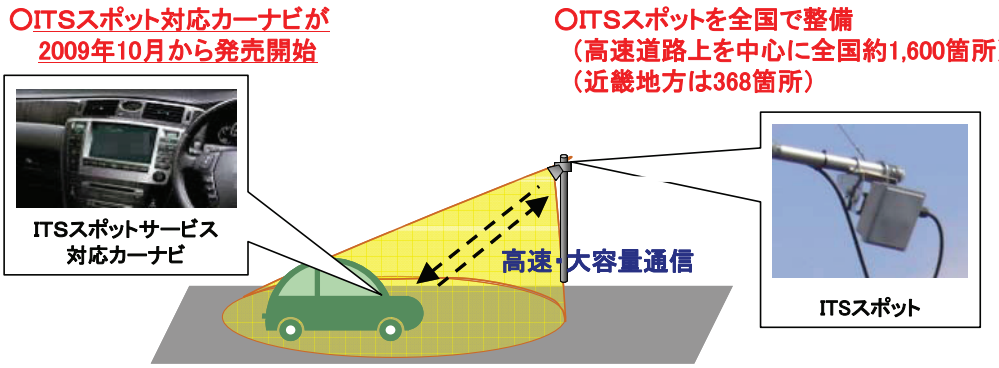


- 全国の高速道路においても1,600箇所のITSスポットが整備されています

ITSスポットサービスとは

ITSスポット対応カーナビで利用できる新しいサービスです

- 道路に設置される「ITSスポット」と、自動車に搭載された「ITSスポット対応カーナビ」が高速・大容量の通信をおこない、リアルタイムで道路交通情報の提供などをおこなう新しいサービスです。



3つの基本サービス

ダイナミックルートガイダンス （広範囲の道路交通情報による長距離の最適経路案内）

- 郊外から大阪都市圏へ入る地点のITSスポットで大阪都市圏の高速道路全てのデータが入手でき、対応カーナビで最適ルートを案内します。
- くわえて、四国へ向かう場合は、四国までの道路交通情報がリアルタイムに提供され、本州四国連絡高速道路のルート選択が出来ます。
- 「ITSスポットサービス」では、分かりやすい簡易図形も提供されます。

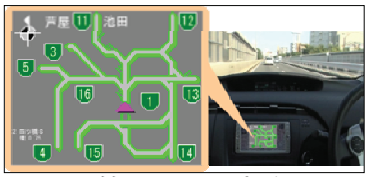


図2　簡易図形の提供



図1　ダイナミックルートガイダンスのイメージ

安全運転支援

- 近畿地方の高速道路では、落下物などが8分に1件発生しています。ITSスポットでは今までの標識等では情報提供できなかった事象発生位置の1km程度手前で注意喚起をおこないます。
- 「ITSスポットサービス」では、前方のカメラでとらえた映像を表示することで、さらに安全運転を支援します。

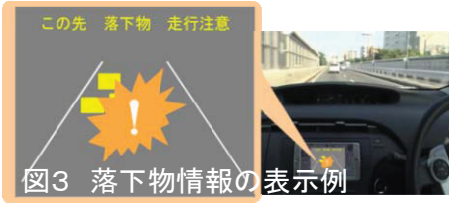


図3　落下物情報の表示例

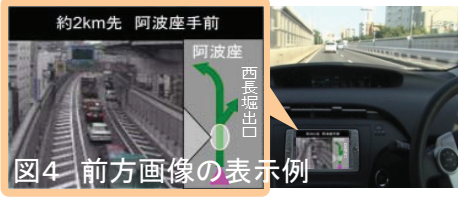


図4　前方画像の表示例

ETC

- ITSスポット対応カーナビは、ETCの機能も一体化しているので、もちろんETCも使えます。

その他のサービス

- 一部のITSスポット対応カーナビでは、ITSスポットでのインターネット接続が可能です。
- カーナビ地図の更新、支払い・観光案内・物流車輌などの運行管理などへも今後展開が予定されています。